

## 第13回「私の愛する一点展」を迎えて

梅野記念絵画館友の会  
会長 倉沢 紀武

今年も、この展覧会を無事に迎えられました。13回ともなれば、もはや友の会の会員にとって欠かすことのできない、「年中行事」といってもいいほどに定着しました。

出品者にとってはなおさらでしょう。自分の「愛する絵」を絵の好きな方々に紹介し、その絵を「手に入れた」時の状況をコメントに添える、というのはある種の快感です。

佐藤館長が第10回展の図録の挨拶文に取り上げていましたが、第1回展をご覧になられた後で中村文俊初代会長が寄せてくださった文章に、今また私も強い共感を覚えるのです。再度ご紹介します。

「本来美術は一部の金持ちの特権的、道楽的、個人的趣味や自己満足の対象ではなく、民族的特性や歴史の中で育まれてきた社会性の高い側面を持っている。」「一部大コレクターの展覧の例はあっても小コレクターの持つ作品が世に問われたことはない。」しかし「高名高額ではなくても、その質の高さと熱い思いを綴ったメッセージとが相まって多くの参観者に強い感動を与えたことは事実であった。」

今、第13回展を迎えるにあたって、深く胸に響くお言葉であり、歴史を受け継ぎ更に紡いでいく者として忘れてはならない視点だと思います。

今回「木雨賞」を設けました。その審査は委員の方々に委ねますが、小コレクターならではの蒐集努力、研究成果にスポットライトをあてるというユニークな賞になるのではと密かに期待をしております。

一点展の出品作品は66点ということです。どんな作品に出会えるか、オープンが楽しみです。

## ■2013年展覧会スケジュール

変更となる場合もございます。

	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9
大展示室	荘司貴和子展 10/26～1/13			1 收藏 14 作品 2 整理 21 の 為 閉 館	梅野 コレクション展 2/22～3/30		荒井茂雄展 4/12～6/15				
ふれあい館	私の愛する一点展 10/26～1/13			今西中通展 2/22～3/16		古田恵美子展 4/12～6/15			横井弘三展 6/21～8/31		

## ■2013～14年イベントスケジュール

詳細はHP、お電話にて、金額は入館料を含みます。

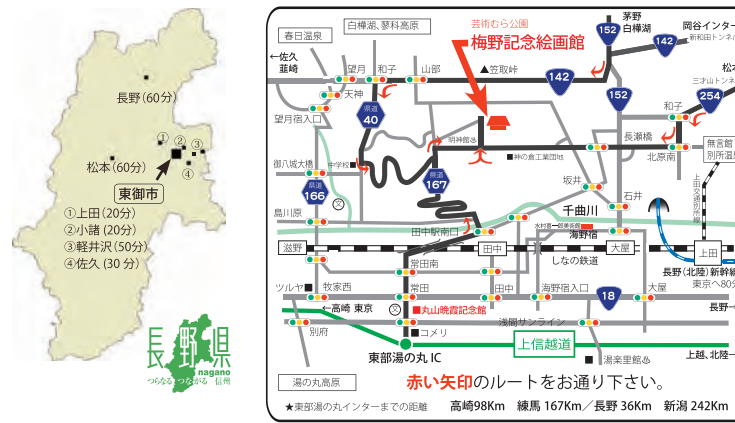
10月26日(土)	13:00	一点展、荘司展ギャラリー・トーク	入館料のみ
11月22日(金)	15:00	「木を植えた人」を聴く会	朗読: 榊原忠美(劇団クセックACT) ¥1,800
11月23日(土)	11:00		
12月1日(日)	15:00	あなたに捧げる一曲コンサート	出演: 上原ひろ子、宮澤等 ¥2,500
1月13日(月・祝)	14:00	新春寄席	出演: 立川談慶 ¥1,800

## ■施設情報、開館案内

とうみし  
東御市梅野記念絵画館 <http://www.umenokinen.com/>  
〒389-0406 長野県東御市八重原 935-1  
TEL0268-61-6161, FAX0268-61-6162, umenokinen@ueda.ne.jp  
開館時間 午前9時～午後5時(16:30迄にご入館ください)  
入館料 800円(高校生以上) 15名以上団体700円  
身障者割引、学校利用減免、減額制度もあります。  
休館日 10月28日 11月5、11、18、25日 12月2、9、16日  
12月24日から1月6日 2014年は1月7日より開館

## ■アクセス

- お車** 練馬ICから2.5時間  
**鉄道** 東京から最速2時間  
しなの鉄道「滋野」下車、タクシー10分
- ◆関東、北陸方面から  
上信越東部湯の丸インターから15分
  - ◆関東、北陸方面から  
北陸新幹線「上田」で、しなの鉄道乗換、滋野下車。
  - ◆中部、関西方面から  
長野道岡谷インターから新和田トンネル、R142号経由で約1時間
  - ◆中部、関西方面から  
特急しなの号利用「篠ノ井」で、しなの鉄道乗換、滋野下車



地域の情報をラジオで発信!  
エフエムとうみ 78.5MHz

リクエスト、メッセージは  
m@fomtomi785.jp

# 第13回 私の愛する一点展

梅野記念絵画館  
www.umenokinen.com

2013年 10月26日(土) → 2014年 1月13日(月・祝)

同時開催 とき 刻の審判の場へ「祈り」荘司貴和子展

〒389-0406 長野県東御市八重原 935-1 TEL 0268-61-6161 午前9時～午後5時 月曜休館

## 「恋人探し」の13回展

東御市梅野記念絵画館

館長 佐藤 修

感性が通じあう好みの絵と出会った時のワクワク感、瞬時に懐具合の算段をしながらも、逡巡し、躊躇する気持ち。揺れ動く心。我がものとなれば、もう、早く自宅に持って帰って見たいと思う気持ち。そして開梱したときの満足感あるいは軽い落胆。

「絵の蒐集は心の恋人探し」と梅野隆前館長はよく言っておりました。確かにそう思います。出会った瞬間に落ち着きをなくし、衝動に走ったり、分をわきまえず高嶺の花に手を出したり、…「恋人探し」は大変です。

梅野さんはこうも言っています。「美は探さないと求められないものです。一つのみぐりあいからの追求力が勝負です」。

かくして何年か経てば、物入れは扉の開け閉めがきつくなるほど絵であふれ、やがてひと部屋を占める程となり、更には倉庫が要ることとなり、家庭争議も…。

そうした苦勞を経て集められた中の一点（逸品）です。コレクターの、絵にまつわる様々な秘話・追求譚が語られています。ご高覧ください。

### 出展作家一覧

阿以田治修、新井狼子、飯田三吾、池田治三郎、石河光哉  
石野容三、伊藤久三郎、伊藤慶之助、猪熊 昇、岩井紀美子  
上野山清貢、宇野政之、梅野木雨、大原裕行、岡本大更  
奥瀬英三、オバガフチ タマダ、河野 扶、小菅徳二、小貫政之助  
坂野昭文、櫻井陽司、三水公平、柴山静穂、島村洋二郎  
菅野恵介、鈴木新夫、鈴木不知、高野卯港、タカハシノブオ  
高島達四郎、滝川太郎、武内鶴之助、竹上 妙、辻 愛造  
坪内節太郎、土社昔（羽田武郎）、中筋幹彦、中野寿一、中村民夫  
中村正義、西田宏道、野中光正、野間仁根、春江、土方久功  
泥谷文景、平澤喜之助、古田恵美子、堀内康司、正宗得三郎  
水谷真一、森 幸夫、森町長子、山内龍雄、山崎豊三、山中 現  
山本 弘、横井弘三、このほか作者不詳作品

